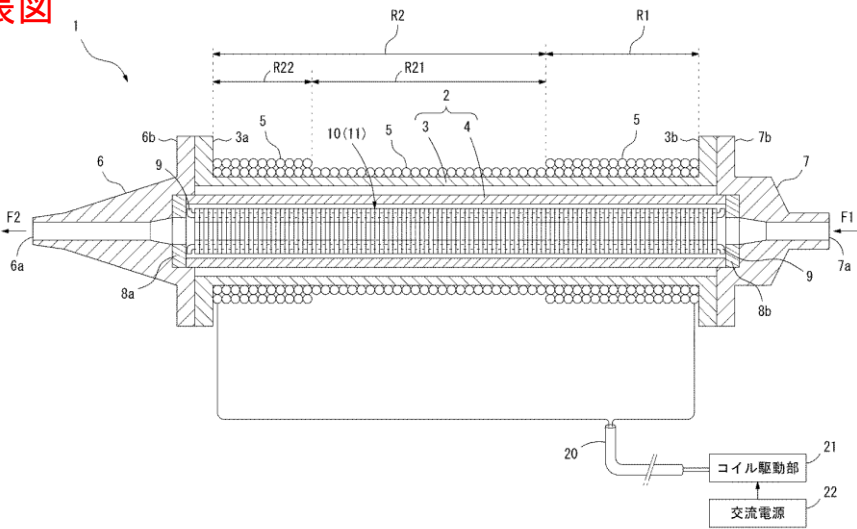


業務用機械

持ち運び可能な小型の過熱水蒸気発生装置

|         |             |      |            |
|---------|-------------|------|------------|
| 発明の名称   | 過熱水蒸気発生装置   |      |            |
| 出願人/権利人 | 岸岡 俊        | 発明者  | 岸岡 俊       |
| 出願日     | 平成27年2月16日  | 出願番号 | 2015-27345 |
| 公開番号    | 2016-152064 | 特許番号 | 6259407    |
| 法的状態    | 登録中         |      |            |

代表図



1: 過熱水蒸気発生装置 2: 耐熱ケース 3: コイル支持管 3a/3b: フランジ部 4: 断熱管 5: コイル 6: ノズル部 6a: 吐出口 6b: フランジ部 7: 供給部 7a: 供給口 7b: フランジ部 8a/8b: メタルガスケット 9: ガイド部材 10: 発熱モジュール 11: 発熱エレメント 20: 導電ケーブル 21: コイル駆動部(コイル駆動手段) 22: 交流電源 F1/F2: 矢印 R1: 飽和水蒸気発生領域 R2: 過熱水蒸気発生領域 R21: 低発熱領域 R22: 高発熱領域

発明の概要

電磁誘導式加熱によって過熱水蒸気を発生させる過熱水蒸気発生装置

特徴

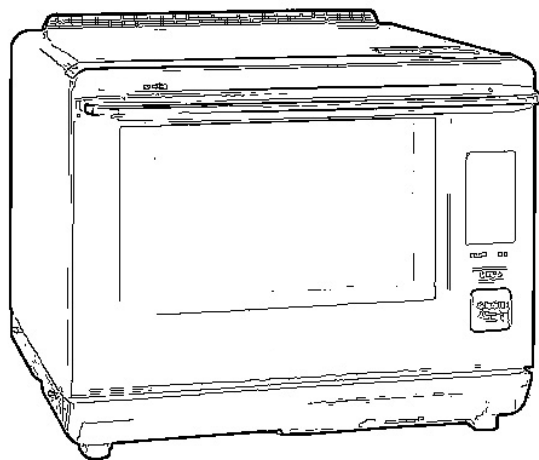
従来装置では、水から過熱水蒸気を発生させようとするとケースにコイルを巻き回した加熱ユニットが複数必要となるため、装置が大掛かりになるという問題があった。

本発明では、耐熱ケースを破損させることなく、1つの加熱ユニットで水から過熱水蒸気を発生させることができるため、装置自体を小型化することが可能であり、持ち運びなどに適した過熱水蒸気発生装置を実現することができる。また、手持ち型ガンタイプなどを用いて、任意の方向に過熱水蒸気を吐出することもできるようになる。

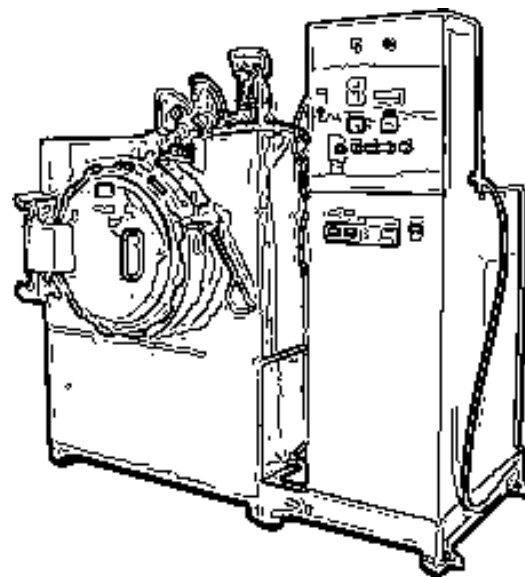
関連分野

ケミカル、飲食、電気機械、その他製造、廃棄物処理

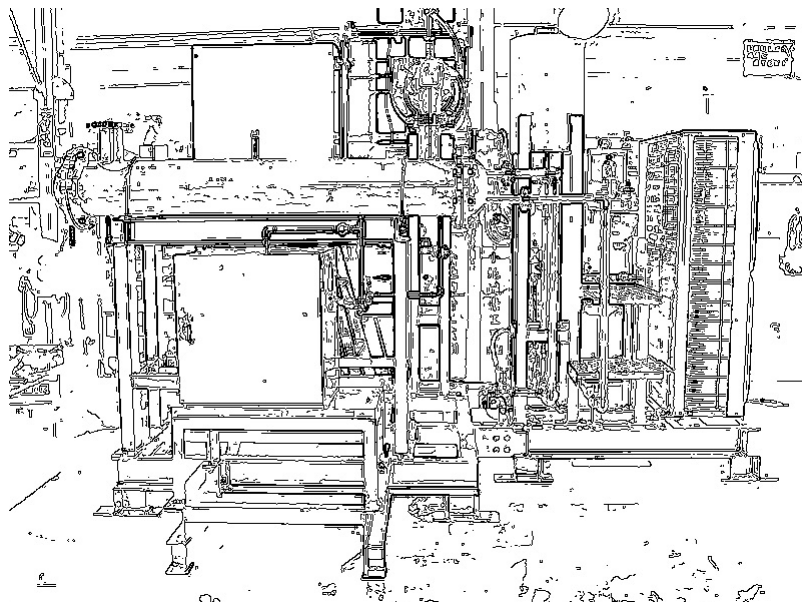
# 応用の可能性



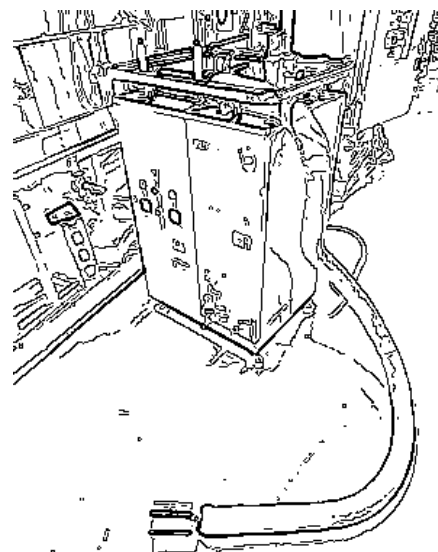
調理器



滅菌・殺菌装置



リサイクル装置



洗浄装置

など

## 応用の可能性

- ・調理器
  - ・滅菌・殺菌装置
  - ・リサイクル装置
  - ・洗浄装置
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| ・株式会社シャープ     | ・株式会社大川原製作所      |
| ・アイリスオーヤマ株式会社 | ・株式会社メッセコーポレーション |
| ・株式会社日立製作所    | ・株式会社タナベ         |
| ・株式会社セイシン企業   | ・野村技工株式会社        |
| ・大川化工機株式会社    | など               |

## 岸岡 俊氏の本発明に関する最新動向

- ・公益財団法人 新技術開発財団インターネットのホームページにて「スポット式過熱水蒸気塗膜剥離装置の技術開発(第95回 平成27年度1次)」という情報が掲載されている。  
( [http://sgkz.or.jp/project/newtech/95/document\\_05.html](http://sgkz.or.jp/project/newtech/95/document_05.html) )